



令和8年度 第42号

今日の授業風景（国語・小4）

10月12日（月）の2時間目、小学部4年生の教室（A組・B組）を訪ねてみました。この時間は、両クラスとも後半に「会話」の学習が予定されていたため、前半の時間を使って漢字練習に取り組んでいました。

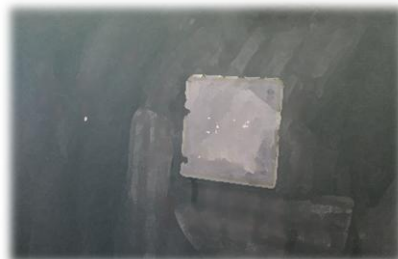
<創造豊かな文章が飛び出したA組>



A組では「焼」という漢字の練習中でした。先生の説明と「空書（くうしょ：空中に文字を書く動作）」の後、先生が一人ひとりのノートに丸を付けていきます。ここからの活動がとても盛り上がりました。先生から「習った漢字を使って文章を作ろう」という課題が出されると、子どもたちの創造力が爆発。「けんかをした友達と仲直りをした」など、習った漢字をたくさん組み合わせた文章が次々と生まれました。中には「仲が良く人と苦労して肉を焼く」というユニークな作品も飛び出し、教室全体が微笑ましい笑みに包まれました。

4年生になり、習う漢字も少しずつ難しくなってきました。漢字の定着には、何よりも「繰り返し」が大切です。学校でも家庭でも、習った漢字をどんどん使っていきましょう。

<丁寧なステップで学ぶB組>



B組で練習していたのは「照」という漢字です。教室に入ると、先生が「間違いやすいポイント」を詳しく説明しているところでした。黒板には音訓や送り仮名、熟語などが整理されて書かれており、見通しをもって学習が進められていることが伝わってきます。先生の説明が終わると、全員で空書をして、筆順を確認しました。その後、いよいよ漢字ドリルに書き込みます。丁寧に書き上げると、子どもたちは嬉しそうに教卓へ持って行き、先生から大きな丸をもらっていました。



ベルギーの見どころ紹介（本日より第28号の続き）

以前にご紹介した「Plan Incliné de Ronquières」続き、ここでは「船のエレベーター（新旧）」をご紹介します。昨年まで小学部4年生が訪問していた施設でもあります。

写真左： [Pont de la Chapelle Bertrand](#)

写真右： [Old Canal du Centre](#)

今日の授業風景（数学・中2）

10月14日（水）の2時間目、中学部2年生の数学の授業を見学してきました。現在学習しているのは「4章 合同な図形」で、この時間には「合同」の意味と、合同な図形の表し方を学んでいます。

担当の先生から「『合同』ってどんな意味？」という問いかけがありました。改めて聞かれると、どう答えていいのか悩んでしまそうです。大人であっても「『合同』は『合同』だよ」と答えてしまったり、「3組の辺がそれぞれ等しい」など「三角形の合同条件」

を答えたりしてしまうかもしれませんね。ここでは「ぴったり重ね合わせることができる」というポイントを押さえることが大切になります。

またその後の学習では、合同の記号「 $\equiv$ 」の使い方についても習いました。ここでは「重ねたときに重なり合う部分」という「対応」の意識をしっかりと定着させたいところです。

この基礎的な内容が、「数学の数学たるゆえん」ともいえる、今後の「証明」の学習に大きく関わってきます。論理的思考の究極の形である「証明」の学習は、まだ始まったばかりです。生徒の皆さん、ぜひ頑張って「証明」を得意分野にしていってくださいね。



芸術の秋「はさみのアート」（小2）



2階の音楽室前を通ると、小学部2年生の素敵な作品「はさみのアート」が目を引きまします。白と黒のコントラストが非常に芸術的で、子どもたちの豊かな表現力に感心しながら、思わずシャッターを切りました。

お願い～バス利用者の欠席について～

スクールバスの利用者の欠席連絡に関するお知らせです。病気・けが等で学校を欠席・早退をする際は、帰りのバスに関しても「利用しない」にチェックをつけていただくようお願いいたします。